

*: 増悪を繰り返す症例には、長時間作用性気管支拡張薬に加えて吸入ステロイド薬や喀痰調整薬の追加を考慮する。

図1 安定期COPDの管理

(文献1より引用)

日本ガイドラインでもLAMAに次にLAMA/LABAとなっています。

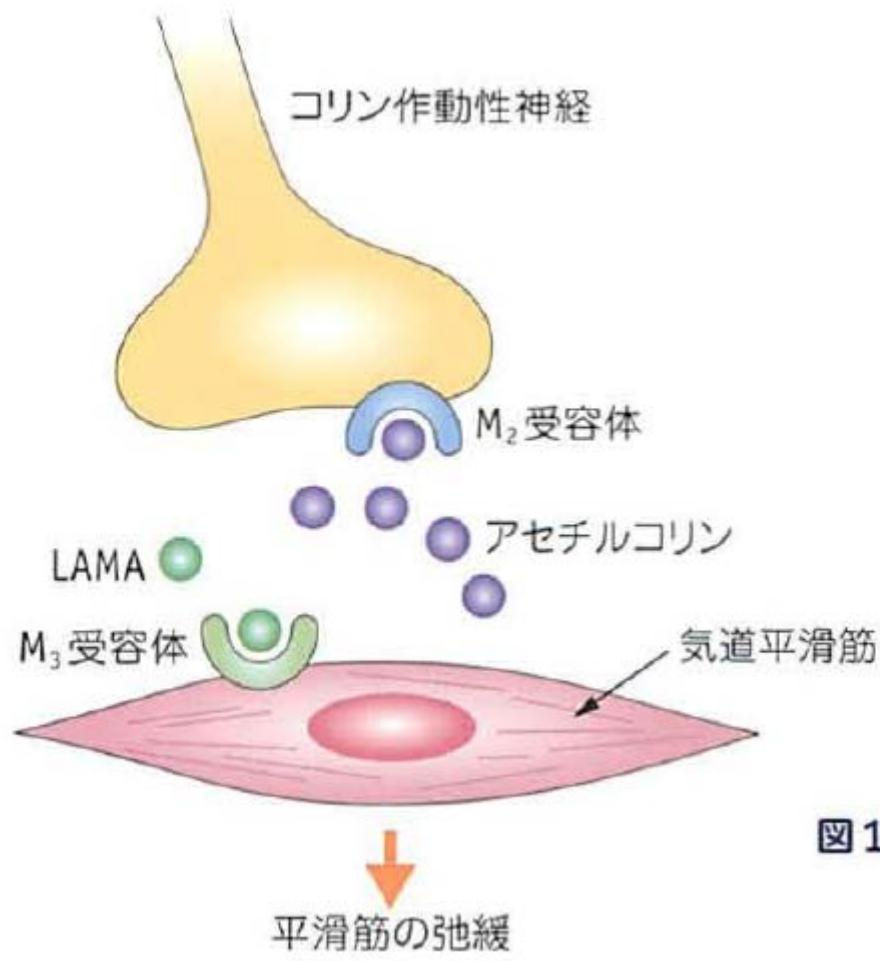


図1 ▶ LAMAの作用機序

(文献2より改変)

LAMAは M_3 に長期のブロックします。一方アセチルコリンの過剰分泌をコントロールする M_2 には短期しかブロックしません。

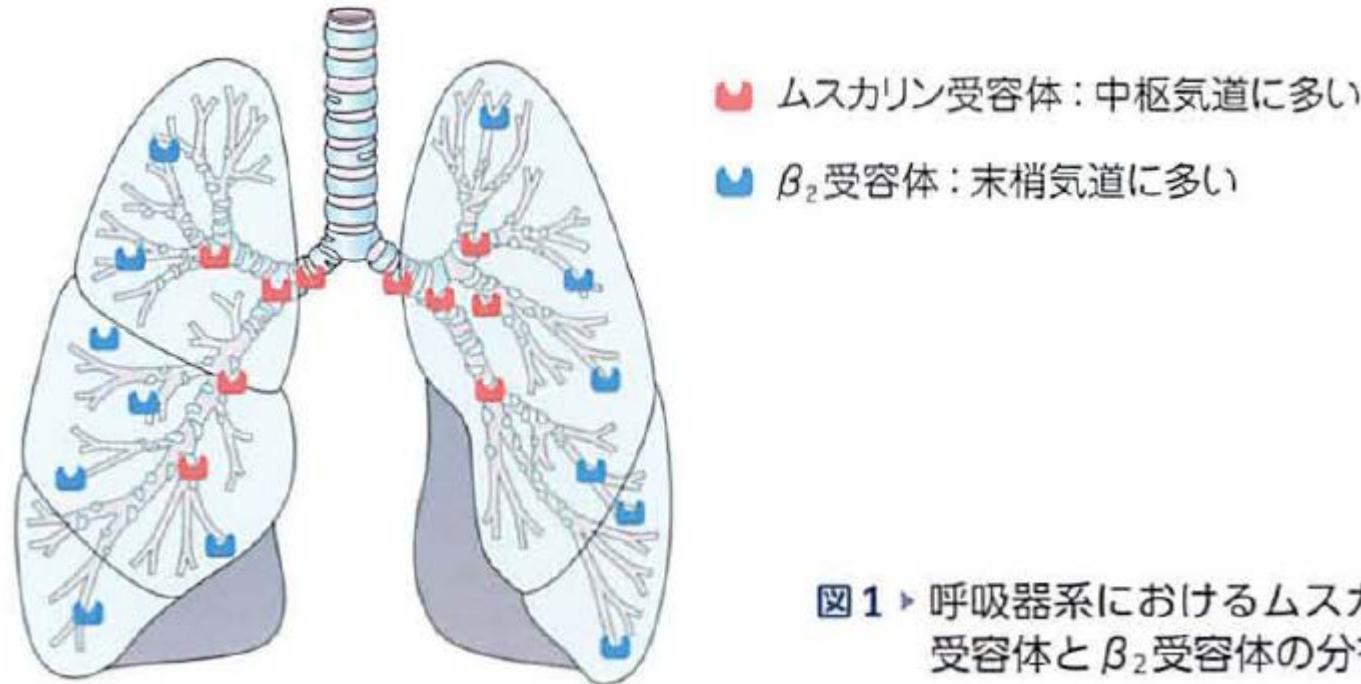


図1 呼吸器系におけるムスカリ受容体とβ₂受容体の分布

アセチルコリンの作用部位のムスカリ受容体とβ2受容体では
部位が異なるようです。

LAMA

一般名	商品名	用法用量*	使用可能噴霧回数	剤形	吸入残量確認	
チオトロピウム溴化物水和物	スピリーバ吸入用カプセル18μg(ハンディヘラー) 	1回1カプセル 1日1回	-	DPI	なし	
	スピリーバ2.5μg レスピマット60吸入	1回2吸入 1日1回	60	ソフトミスト	目盛りの針が赤い領域に入ったら残りは約7回分(14噴霧)	
グリコビロニウム溴化物	シーブリ [®] フリースヘラー [®] 	シーブリ吸入用カプセル50μg	1回1カプセル 1日1回	1シート 7カプセル	DPI	なし
アクリジニウム溴化物	エクリラ400μg ジエヌエア30吸入用 60吸入用 	1回1吸入 1日2回	30.60	DPI	10回きざみのカウンター付き	
ウメクリジニウム溴化物	エンクラッセ62.5 μgエリプタ7吸入用 30吸入用 	1回1吸入 1日1回	7.30	DPI	カウンター付き	

基本はスピリーバレスピマットです。

喘息と異なり効果は1か月以上かかりますので経過観察がCOPDの場合は大事です

LAMA/LABA

一般名	商品名	用法用量*	使用可能噴霧回数	剤形	吸入残量確認
グリコビロニウム臭化物／インダカテロールマレイン酸塩		ウルティプロ吸入用カプセル 1回1カプセル 1日1回	1シート 7カプセル	DPI	なし
ウメクリシンニウム臭化物／ビランテロールトリフェニル酢酸塩		アーロエリプタ7 吸入用、30吸入用 1回1吸入 1日1回	7, 30	DPI	カウンター付き
チオトロビウム臭化物水和物／オロダテロール塩酸塩		スピオルトレスピマット28吸入 1回2吸入 1日1回	28	ソフトミスト	吸入残量確認があり、目盛りの針が赤い領域(0~6)に入ったら残りは約3回分(6噴霧)。スピリーバ®2.5μgレスピマット60吸入と噴霧回数が異なるため要注意。



図5 ▶ シーブリ[®]、オンプレス[®]、ウルティプロ[®]の関係(ブリーズヘラー)

一つのメーカーでの移行は便利と考えています。



図6 ▶ フルタイド®, セレベント®, アドエア®
の関係 (ディスカス)



図7 ▶ パルミコート®, オーキシス®, シムピコート®
の関係 (タービュヘイラー)

LABAを中心とした移行も可能です。